

医師会病院 訪問リハビリテーションのご紹介

訪問リハビリテーションとは??

リハビリ担当者が実際の生活の場であるご自宅にお伺いして、日常生活の自立や社会参加の向上を図ることを目的としています。利用者様の機能維持・向上を図りつつ、医療機関では行いにくい、**実際の生活場面に即した部分への介入ができる**という利点があります。心身障害だけでなく、生活障害や住環境等を確認しながらご助言、ご指導させて頂く中で、**利用者様が安心、安全にその人らしい在宅生活を継続できる**よう支援させて頂きます。

どんな人が対象になるの??

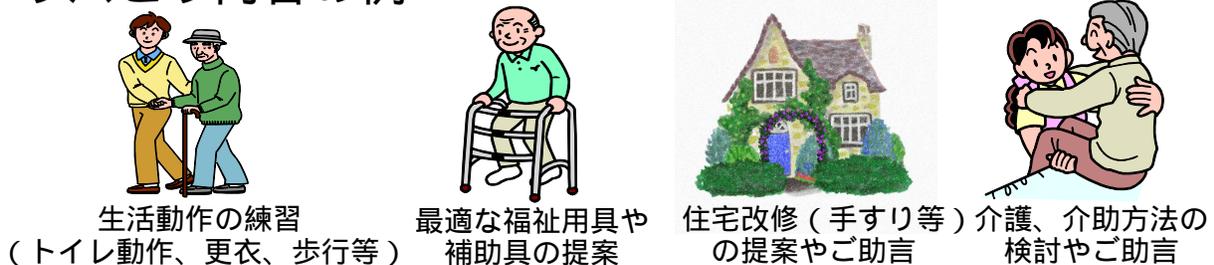
- ・退院、退所後、自宅での生活に不安のある方
- ・自宅療養中で、日々の生活の中での介助量が増えてきた方
- ・介助方法に不安を感じておられるご家族の方
- ・手すりの取り付けなど住宅改修を考えておられる方
- ・日常生活においてできないことが生じるなど、不安を感じておられる方
- ・食事の食べにくさを感じる方 など

訪問リハビリでは、**具体的な目標**を利用者様、ご家族様と一緒に考え、他職種と連携をしながらチーム全体で目指していきます。

自宅のトイレに行けるようになりたい



リハビリ内容の例



他にも . . .



- ・ご自宅で行える運動や動作の指導、ご助言
- ・家事動作の練習（調理、洗濯、掃除等）
- ・コミュニケーション方法のご助言
- ・口腔ケアや嚥下面への介入、ご助言
- ・趣味活動の援助

など



実際の例...

退院時にはミキサー食を食べていたが、主治医と相談しながら少しずつ食形態を変え、全粥や軟らかいおかずが食べられるようになった。
同時に、食事を準備する家族の悩みを聞き、調理の仕方をアドバイスするなど、その都度対応をしていった。

妻と2人暮らしの80歳男性。転倒が増え、妻の介助負担が増えていた。
そこで、転倒を繰り返していた場所に手すりを設置し、その環境での動作を繰り返し練習したことで、転倒が減ってきた。また、妻に転倒時の介助方法をアドバイスしたことで介助負担を減らすことができた。

退院後「何かしたいけど何ができるかわからない」と話していた女性。
リハビリ介入時に話をする中で「以前のように花を育てたい」との希望が聞かれた。
そこで、動作の指導や自助具の導入、家具の配置換えを行なった。
現在は育てた花を近所の方にお裾分けするようになっている。家族も「意欲的に過ごすようになった」と喜んでいる。

当院訪問リハビリ事業所の体制

【平成29年7月現在】

職員数	理学療法士 2名 作業療法士 1名 言語聴覚士 1名
対象地域	旧岩国市内【離島を除く】
営業日	月曜日から金曜日。祝日は通常通り営業。 (ただし長期休暇は休みの場合あり)
時間	午前8時30分～午後5時30分
場所	医師会病院東館 (在宅介護支援センター)
料金	20分あたり302円のご負担をいただきます (一割負担の方) その他いくつかの加算が付きます。 例えば、一割負担の方が週1回40分ご利用いただいた場合、 1カ月あたりの自己負担額は2500円程度になります。

ご連絡先

お問い合わせ等はこちらまで!! *ともに在宅介護支援センター直通です。
電話(0827)21-1651 FAX(0827)22-1654